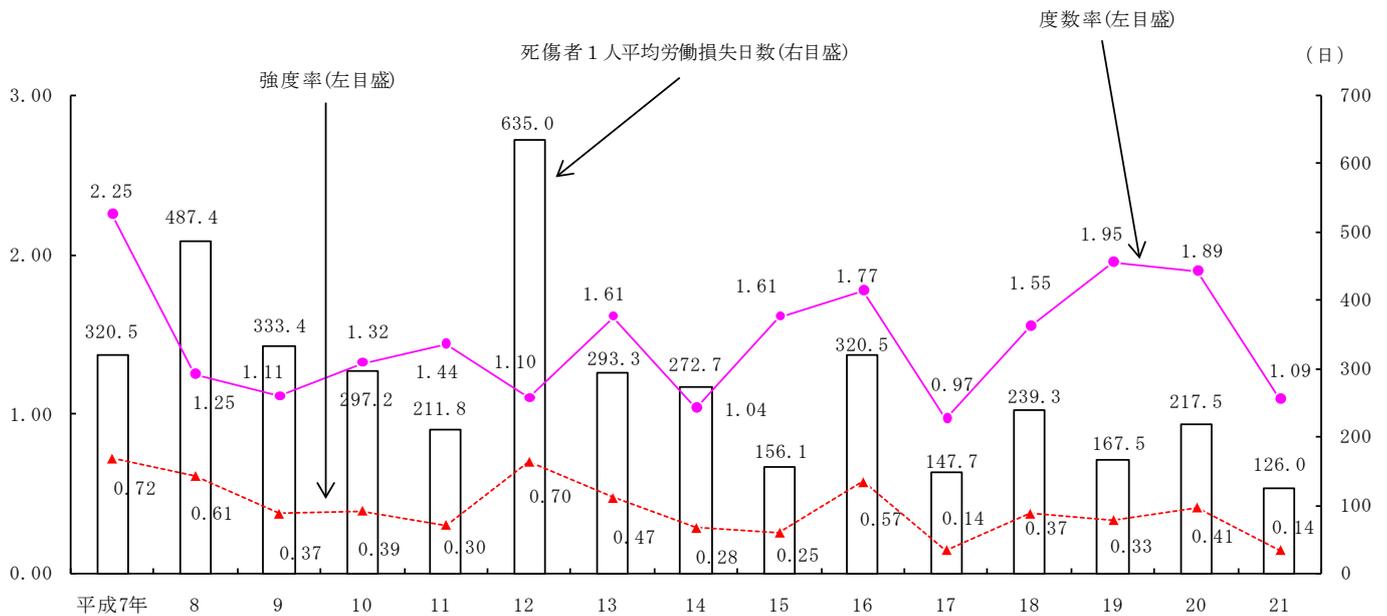


## 2 総合工事業調査

平成 21 年の労働災害の状況を総合工事業で見ると、度数率が 1.09(前年 1.89)、強度率が 0.14(同 0.41)となり、死傷者 1 人平均労働損失日数が 126.0 日(同 217.5 日)となっている。前年と比べ、度数率が 0.80 ポイント低下、強度率が 0.27 ポイント低下し、死傷者 1 人平均労働損失日数が 91.5 日減少している。(第 3 図、第 3 表)

工事の種類別にみると、土木工事業の度数率が 1.42(同 1.67)、強度率が 0.34(同 0.73)、建築事業の度数率が 1.05(同 2.04)、強度率が 0.11(同 0.20)となっている(第 3 表)。

第 3 図 労働災害率及び死傷者 1 人平均労働損失日数の推移  
〔総合工事業〕



第3表 総合工事業における労働不能程度別労働災害率  
及び死傷者1人平均労働損失日数

産 業（工事の種類）	度 数 率								強 度 率	死 傷 者 1 人 平 均 勞 働 損 失 日 数（日）	
	計	死 亡	永 全 不	久 勞 働 能	永 一 部 勞 働 能	久 勞 働 能	一 時 勞 働 不 能				
							計	休 業 8 日 以 上			休 業 4 ～ 7 日
<b>D06 総合工事業</b>	<b>1.09</b> (1.89)	<b>0.01</b> (0.04)	<b>0</b> (0.01)	<b>0.01</b> (0.02)	<b>1.07</b> (1.82)	<b>0.62</b> (0.89)	<b>0.03</b> (0.07)	<b>0.42</b> (0.86)	<b>0.14</b> (0.41)	<b>126.0</b> (217.5)	
067 土木工事業	1.42 (1.67)	0.04	0	0.07	1.32	0.83	0.01	0.48	0.34 (0.73)	237.5 (438.3)	
0671 河川土木工事業	1.00	0	0	0	1.00	0.63	0	0.37	0.04	38.6	
0672 水力発電施設等新設事業	1.97	0	0	0	1.97	0.55	0	1.42	0.03	14.7	
0673 鉄道又は軌道新設事業	1.79	0	0	0	1.79	0.36	0	1.43	0.02	11.5	
0674 地下鉄建設事業	1.83	0	0	0.38	1.46	1.08	0	0.38	0.42	229.5	
0675 橋りょう建設事業	1.90	0.16	0	0	1.74	1.11	0	0.63	1.29	678.3	
0676 ずい道新設事業	1.62	0	0	0	1.62	0.90	0	0.73	0.05	28.4	
0677 道路新設事業	1.68	0	0	0.14	1.54	1.03	0	0.51	0.13	75.8	
0678 その他の土木工事業	0.91	0	0	0.11	0.80	0.58	0.03	0.20	0.03	28.7	
0679 舗装工事業	1.43	0	0	0	1.43	1.14	0	0.29	0.06	42.4	
068 建築事業	1.05 (2.04)	0.01	0	0.00	1.03	0.59	0.03	0.42	0.11 (0.20)	104.0 (98.9)	
0681 建築工事業	1.02	0.01	0	0	1.01	0.58	0.03	0.41	0.09	89.7	
0682 その他の建築事業	1.51	0.05	0	0.04	1.42	0.78	0.04	0.61	0.41	269.1	
(参考)調査産業計（総合工事業を除く）	1.62	0.01	0.00	0.02	1.59	0.98	0.20	0.41	0.09	56.9	

注：（ ）内は前年（平成20年）の数値である。